

「小児開心術後声帯麻痺の臨床像の検証」

1. 研究の対象

2008年1月～2022年9月に当院で心臓関連手術を受けられた1歳未満の症例

2. 研究目的・方法

先天性心疾患の手術成績向上により死亡のリスクは軽減してきている現状の中、さらなる成績向上を目指し、現在は術後合併症軽減に関心が向けられてきている。術後合併症の1つに術後の声帯麻痺があり、嘔声、嚥下障害や喘鳴といった気道症状などから術後に治療介入を要することがある。ただし、その発症リスクや遠隔予後に関しては十分に検証がなされていない。本研究では術後声帯麻痺の臨床像を明らかにすることで、先天性心疾患の手術成績のさらなる改善の一助としたい。研究期間は2022年1月1日から12月31日までとする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：疾患名、病歴、手術記録、術中エコー記録、術後経過記録等。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合4丁目3-17

TEL：022-391-5111（代表）

FAX：022-391-5118

研究責任者：宮城県立こども病院 心臓血管外科 正木 直樹